

# Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2026.5.11



Toyota  
Municipal  
Museum  
of Art

豊田市美術館



ヤノベケンジ《森の映画館》2004年 豊田市美術館蔵 (photo: Seiji Toyonaga) ©YANOBE Kenji

コレクションを中心としたテーマ展

## ワン・ルーム ワン・アーティスト

One Room, One Artist

ヤノベケンジ、堀尾昭子、梅津庸一、岡崎和郎

2026年7月18日[土]ー9月23日[水・祝]

開館時間： 10:00-17:30 (入場は17:00まで)

休館日： 月曜日 (7月20日、9月21日は開館)

主催： 豊田市美術館

会場： 展示室1,2,3,4

観覧料： 一般800円(700円)、高校・大学生600(500)円、中学生以下無料

\* ()内は20名以上の団体料金

\* その他観覧料の減免や割引については、当館ウェブサイトをご確認ください。

## 開催趣旨

豊田市美術館では、作家の仕事を多面的、俯瞰（ふかん）的に見渡せるように、ひとりの作家について複数の作品を収集することを心掛けてきました。そして、ひとつの展示室にひとりの作家の作品だけを展示して、その作家の造形思想を紹介したり人間性にも触れたりできるような「ワン・ルーム ワン・アーティスト」を、ひとつの目指すべきコレクションの姿としてきたのです。

本展では当館のコレクションの中から、ヤノベケンジ、堀尾昭子、梅津庸一、岡崎和郎の4名の国内作家に焦点を当て、「ワン・ルーム ワン・アーティスト」で構成するテーマ展を開催します。会場は、大きさや光の環境などが異なる4つの特徴的な展示室。当館のコレクションを中心に借用作品も交えて、展示室ごとに各作家の仕事を多角的に紹介します。独自の視座のもと新たな表現を切り拓いてきた4名の作家による4つの展示室での体験をお楽しみください。

## 出展作家

### ヤノベケンジ／展示室1

1965年大阪府生まれ。1990年代初頭より、「現代社会におけるサヴァイヴァル」をテーマに機能性を持つ大型機械彫刻を制作。ユーモラスな形態に社会的メッセージを込めた作品群は国内外で高い評価を得る。美術館での主な個展に「メガロマニア」（国立国際美術館、2003年）、「キンダガルトン」（豊田市美術館、2005年）、「Mythos」（入善町下山芸術の森 発電所美術館、2010年）、「シネマトイズ」（高松市美術館、2016年）、「太郎と猫と太陽と」（岡本太郎記念館、2024年）がある。

### 堀尾昭子（ほりお あきこ）／展示室2

1937年徳島県生まれ。1960年代より看護師として勤務するかたわら作品制作をはじめ、関西の前衛芸術集団の具体美術協会に合流する。身近なものを素材に、小さくも空間全体に作用するような緊張感のある作品で知られる。近年の展覧会に「堀尾昭子の現在」（西脇市岡之山美術館、2021年）、「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」（森美術館、2022年）、「コレクション企画 梓と波」（豊田市美術館、2023年）がある。

### 梅津庸一（うめつ よういち）／展示室3

1982年山形県生まれ。パーブルーム主宰。美術史や美術教育、美術と産業など、美術にまつわるあらゆる領域に関心を示しながら、さまざまな表現媒体を横断しつつ美術とは何かを追究する。近年では神奈川県海老名市のダイエーに自らが主宰するギャラリーを移転・開廊した。近年の美術館の個展に「ポリネーター」（ワタリウム美術館、2021年）、「クリスタルパレス」（国立国際美術館、2024年）がある。

### 岡崎和郎（おかざき かずお）／展示室4

1930年岡山県生まれ、2022年没。1960年代より晩年まで、「補遺」（＝見落とされてきた見方をおぎなうもの／こと）という独自の概念のもと、身近な物をモチーフとしたオブジェを制作し続けた。美術館での主な個展に「岡崎和郎」（倉敷市立美術館、1997年）、「岡崎和郎展 補遺の庭」（神奈川県立近代美術館 鎌倉、2010年）、「見立ての手法—岡崎和郎 Who's Who」（千葉市美術館、北九州市立美術館、2016 - 17年）がある。

## 見どころ

### 「ワン・ルーム ワン・アーティスト」＝目指すべきコレクションのひとつの姿

豊田市美術館では、作家の仕事を多面的、俯瞰（ふかん）的に見渡せるように、ひとりの作家について複数の作品を収集することを心掛けてきました。そして、ひとつの展示室にひとりの作家の作品だけを展示して、その作家の造形思想を紹介したり人間性にも触れたりできるような、「ワン・ルーム ワン・アーティスト」を、ひとつの目指すべきコレクションの姿としてきたのです。本展は、作家ごとにいくつかのまとまりが形成されている当館のコレクションの中から、4名の作家の仕事を紹介するものです。

### 日本を代表する4名の作家の仕事を多角的に紹介

ヤノベケンジ（1965 年大阪府生まれ）、堀尾昭子（ほりお あきこ／ 1937 年徳島県生まれ）、梅津庸一（うめつ よういち／ 1982 年山形県生まれ）、岡崎和郎（おかざき かずお／ 1930 年岡山県生まれ、2022 年没）といった日本を代表する作家たちの作品を、展示室ごとに複数点展示して構成します。世代も作風も異なる4名の作家たちの仕事を、大きな光の環境などが異なる4つの展示室で紹介していきます。

## 関連事業

会期中、イベントを開催します。詳しくは美術館ウェブサイトをご覧ください。

## お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:[bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp](mailto:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp)

- |                  |          |                  |
|------------------|----------|------------------|
| ● 展覧会に関すること      | 都筑、鈴木、亀山 | Tel 0565-34-3131 |
| ● 掲載依頼・取材等に関すること | 西本、大柳    | Tel 0565-34-6748 |

コレクションを中心としたテーマ展

## ワン・ルーム ワン・アーティスト

ヤノベケンジ、堀尾昭子、梅津庸一、岡崎和郎

### 広報用画像について

当館ウェブサイト「広報用画像ダウンロード」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。

「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。

パソコンをお持ちでない方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 西本、大柳

Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103

e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前 様 ご所属

Tel

e-mail 必要な画像等の番号

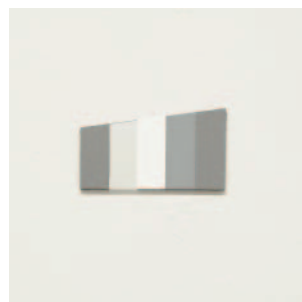
掲載紙／メディア名 発売、放送予定日 月 日 ( 月号、vol. )



1



2



3



4



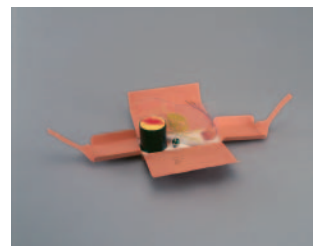
5



6



7



8

1. ヤノベケンジ《森の映画館》2004年 豊田市美術館蔵 (photo: Seiji Toyonaga) ©YANOBE Kenji, 2026
2. ヤノベケンジ《アトムスーツ・プロジェクト：保育園4・チェルノブイリ》1997 / 2001年 寄託作品 (photo: Russell Liebman) ©YANOBE Kenji, 2026
3. 堀尾昭子《無題》2020年 豊田市美術館蔵 ©HORIO Akiko, 2026
4. 堀尾昭子《無題》2019年 豊田市美術館蔵 ©HORIO Akiko, 2026
5. 梅津庸一《集団意識》2021年 豊田市美術館蔵 (gift of Misonikomioden) ©UMETSU Yoichi, 2026
6. 梅津庸一《モダンな壁》2022年 豊田市美術館蔵 (gift of Misonikomioden) ©UMETSU Yoichi, 2026
7. 岡崎和郎《HISASHI》1994年 豊田市美術館蔵 ©Kazuo Okazaki
8. 岡崎和郎《Giveaway Pack 1》1968年 豊田市美術館蔵 ©Kazuo Okazaki

- ・クレジットを必ず添えてください。
- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 ☐画像送付 ☐校正 ☐修正 ☐配信・配本